

サービスマーケティングで学んだこと、そしてこれからの私が目指すもの

活動先：NPO 法人 エンドゴール

私がこの1年間サービスマーケティングを通して学んだことは、私がこれから生きていく中で計り知れないほど大きな糧となった。活動を行う中でイベントに参加された方や様々な職種の方と出会い、また現場で働く人の価値観や考え方を共有することにより、私の中での視野が大きく広がっていき、今までに味わったことがない経験を積むことができた。このことより今の私自信を見つめ直し、これから将来に向けて行動しようとする新たな自分が発見できたからである。

そもそも、私がサービスマーケティングで学ぼうと思ったのは、大学2年生になるのに自分の将来について考えると「まだ先の話」だと思い、全く焦りがなかった。しかし自分に向き合わずに、ただただと大学生活を送ってはいけないと思い始め、サービスマーケティングに参加すれば新たな発見や出会いにより自分が変わるのではないかと思い、藁をも掴む思いでサービスマーケティングに参加した。そこで私が出会ったのは NPO 法人エンドゴールである。

私が一年間お世話になった NPO 法人エンドゴールとは

- ・若者に対する「キャリア教育」と「人間教育」の実践
- ・自分の掲げた目標に向かって、自信を持ってチャレンジし続ける若者の育成
- ・他人や社会を大切に考えることのできる若者の育成
- ・次世代リーダーの育成

を理念に、厚生労働省の委託を受け地方自治体や地域の若者支援機関と連携した包括的支援の窓口として、無職の状態にある若者とその保護者に対し、専門的な相談、各種プログラム、職場体験、地域ネットワークを活用した支援など、多様な就労支援メニューを提供した活動を行っている。

それとは別に、代表の大久保氏の柔軟な発想から生まれた「知多みるく」という萌えキャラクターを用いて、「就職支援と萌えキャラ」をいう一見かけ離れたもの同士を融合することによって、新聞・ビジネス雑誌・インターネットなどあらゆるメディアで取り上げられ、全国に92か所ある地域若者サポートステーションの中でも、ひととき話題性のある団体なのである。

そのエンドゴールでの活動を振り返ると、活動当初は私の受け身姿勢な性格が邪魔をして、エンド・ゴール側から連絡が来るのを待ちすぎて、夏休み終わりまで全く学生企画が進まなかった。しかし、学生企画以外（エンドゴール主体）の活動に参加していくことによって私自身の甘さ、人に伝える難しさなど自分の普段の生活では気づかないような部分を学んだ。そこから、私たちは自身のスキルアップのために進んで某有名企業のセミナーに同行し、またグループで集まり話し合いを繰り返し行うようになり「はちみつ企画」を実行していったのである。

はちみつ企画は「知多半島に住んでいる障害者の就労の拡大」をテーマに、半田市にあ

る「社会福祉法人ダブルエッチジェーひまわり」に、はちみつの瓶のラベル貼りを依頼し、その売り上げの一部を寄付という形で行うことにより、少しでも障害を持った方に働く楽しさを見つけてもらう機会を作るという企画である。「キャラクターを使って社会貢献を」というテーマから始まり、11月28・29日に行われる半田市福祉フェアに向けて限られた時間の中で、半田市内の参加して頂ける施設を探し、はちみつ卸業者と価格の交渉、ラベルデザインを考えるなど大変だったが貴重な経験を積んだ。今だから言えるが、福祉フェアの2日間で一個180グラム945円のはちみつが約300個も売れるなんて思いもしなかった。事前に中日新聞に載ったことが大きく、「新聞見たよ！福祉大生がすごい事してるんだね。」「これからも、もっと頑張ってるよ。」などの地域の方からの温かい言葉を頂いて、やはり自分たちが一生懸命考え実行したことは人がちゃんと見てくれているのだなど大きな達成感を感じた。それと同時に、今のうちにできる限り行動して経験を積んでいき、今回よりもっと大きな事をしたいと思っている。

私は、このような活動する以前は、将来は「福祉関係に就職なんだろうな」という、ただなんとなく大学生活を送っていた。しかし、活動を通して良い意味で悩むようになった。そのことにより、様々な職種の専門誌を手に取り調べるようになり、たくさん本を読むようになった。これからもこのような習慣をもっと増やしていく。

そして今は、まだ漠然とだが公務員を目指そうとしている。昔の人が聞いたら「安定志向」と思うかもしれないが、40代で定年退職が行われている時代で安定なんてどこにもないのである。その上の目標に向かって将来は地域を知り、地域に一番身近な存在である役場などで地域貢献をし、やがては起業しようと計画している。

こう思えるようになったのもエンドゴールとの出会いであったし、第一期生として参加できたサービスマーケティングが行われたおかげだと思っている。冒頭でも述べたように、私がこの1年間サービスマーケティングを通して学んだことは、私がこれから生きていく中で計り知れないほど大きな糧となった。この経験を通して私自身、自分の将来が楽しみになってきた。